

## 〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、19～24℃台を示し、平年並みでした。

## 〔漁況概要〕

- 中小型まき網――月夜間に出漁日数が少なかった。西彼地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり3トンの水揚げで、前週の43%（前年を下回った）。五島奈留地区では、マアジが1日1統当たり1トンの水揚げで、前週の50%（前年を下回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり12トンの水揚げで、前週の60%（前年を下回った）。
- イカ釣――月夜間に出漁日数が少なかった。スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり3kgの水揚げで、前週の25%（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり25kgの水揚げで、前週の56%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では1日当たり8kgの水揚げで、前週を下回った（前年を下回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、シイラなどが1日1統当たり4トンの水揚げ。対馬西岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり55kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり324kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり143kgの水揚げで、前週の1.5倍（前年を下回った）。

## 〔日本海スルメイカ情報〕

今期（10/25～10/30の6日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、大和堆周辺で操業。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～山陰沖～能登半島沖～佐渡沖～山形沖で操業。鳥取県西部（沖合船）では5日延65隻、総計6,292箱、1航海最高232箱、平均96.8箱。スルメイカを漁獲、魚体は20～30入。

（漁業情報サービスセンターより）

## 〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>